

# 5 熊本県医師修学資金貸与制度

## 1. 地域医療ゼミ

### I 概要

熊本県医師修学資金貸与制度を利用している学生は40名おり、毎月1回、地域医療に関する興味・関心を深めることを目的として、学生達で企画した内容を中心に「地域医療ゼミ」を開催しています。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、4月・5月の開催を中止する結果となりましたが、その後はZoomを活用し、遠隔地の講師によるセミナーの開催等、オンラインの利点を生かしたゼミを開催することが出来ました。

1年生	5人
2年生	6人
3年生	6人
4年生	6人
5年生	11人
6年生	6人

### II 活動報告

#### ◆ 第1回地域医療ゼミ(2020年6月11日/オンラインにて開催)

新たに熊本県医師修学資金貸与学生として入学した1年生5名の自己紹介、Zoomのブレイクアウトルームを利用したレクレーションを行い、学生間の親睦を深めました。

#### ◆ 第2回地域医療ゼミ(2020年7月16日/オンラインにて開催)

熊本県医療政策課より医師修学資金貸与制度とキャリア支援プログラムについて、また、地域医療支援機構、地域医療支援センターより事業説明が行われました。その後質疑応答の時間を設け、貸与学生の疑問や不安を解消する有意義な時間となりました。

#### ◆ 第3回地域医療ゼミ(2020年8月27日/オンラインにて開催)

令和2年7月3日に発生した「令和2年7月豪雨災害」で被災した人吉・球磨地域の医師2名(人吉医療センター 田浦尚宏先生、球磨村診療所 院長 橋口治先生)を講師に招き、「地域医療と災害」というテーマでご講演頂きました。被災しながらも地域の医療を絶やさないために復旧作業を早期から行い、医療活動の再開に尽力されていた医師の貴重な体験をお聞きすることが出来ました。

#### ◆ 第4回地域医療ゼミ(2020年9月17日/オンラインにて開催)

今年度は新型コロナウイルスの影響により、毎年8月に行っている夏季地域医療特別実習(夏季実習)が延期となった為、これまでの夏季実習で学んだことを発表し、今後の夏季実習の改善点、要望等、学生からの意見の聞き取りを行いました。

#### ◆ 第5回地域医療ゼミ(2020年10月15日/オンラインにて開催)

テーマを「卒業生に聴く」と題して、医師修学資金貸与制度を利用し卒業され、現在専門研修中の医師として活躍されている先生(小国公立病院 総合診療科 松田圭史先生、天草地域医療センター 脳神経外科 山村理仁先生)を演者として招き、卒業生の生の声をお聞きした後質疑応答の時間を設け、学生がこれからのキャリア選択について知見を深める機会となりました。

## ◆ 第6回地域医療ゼミ(2020年11月19日/オンラインにて開催)

多職種連携・地域包括ケア教育の機会として、公益社団法人「認知症の人と家族の会」熊本県支部 代表本山さつきさんをお招きし、実際に認知症を患ったご家族のリアルな介護体験、介護を通して感じた家族の思いや医師への要望等をお聞きすることが出来ました。今後、急速に高齢化が進む地域の医療機関に従事する学生にとって、医師としてどのようなことが求められるかを考える重要な機会となりました。

第6回 地域医療ゼミ

### 「認知症の家族に聴く」

家族の体験を通して、これからの医師の在り方に迫る

医療が高度化社会にある日本の医療現場において、認知症患者さんおられる機会はとて多くなってきています。ご存じの通り認知症は誰でも発症する可能性があります。そのため、その治療や介護をすることができず、その生活が苦痛であることが多くあります。なかには、認知症を患ったご家族のリアルな介護体験、介護を通して感じた家族の思いや医師への要望等をお聞きすることが出来ます。今後、急速に高齢化が進む地域の医療機関に従事する学生にとって、医師としてどのようなことが求められるかを考える重要な機会となります。

公益社団法人「認知症の人と家族の会」の熊本県支部の代表として、家族が認知症に患ったときの体験を語っていただく機会となりました。是非この機会をぜひ活用していただき、認知症の家族の思いや医師への要望等をお聞きすることが出来ます。今後、急速に高齢化が進む地域の医療機関に従事する学生にとって、医師としてどのようなことが求められるかを考える重要な機会となります。

**講師**  
公益社団法人「認知症の人と家族の会」  
世話人代表 本山 さつき

**日程**  
2020年11月19日(木) 18:00 ~ 19:10  
オンラインにて開催  
(ZoomのID・パスワードは要領書に記載しております)

**お申込み方法** 申し込み締め切りは 11/18(水) です。  
どなたでもご参加頂けます。事前にお申込み下さい。おの  
QRコードからお申込みフォームへアクセスして下さい。

**お問い合わせ**  
熊本大学病院 地域医療・総合診療実習学習指導課  
Mail: chiki\_soushin@kumamoto-u.ac.jp  
TEL: 096-373-5721 (担当事務: 山口)

## ◆ 第7回地域医療ゼミ(2020年12月17日/オンラインにて開催)

「動画を観て語り合うシネマデューケーション」と題し、様々な先進的なテーマに取り組んでいる世界各国の知識人によるプレゼンテーションを提供しているTED(Technology Entertainment Design: 通称テッド)の中から、現在の社会状況にマッチした内容のプレゼンテーション2つを参加者全員で視聴するかたちで行いました。その後、ブレイクアウトルームを利用して、視聴したプレゼンテーションに対するグループディスカッションを行い、活発な意見交換の場となりました。

熊本大学病院

第7回 地域医療ゼミ

2020.12.17(Thu)  
18:00

オンライン (Zoom) 開催  
事前申し込み制

「動画を観て語り合う シネマデューケーション」

シネマデューケーション (CinemEducation) はシネマ (Cinema)、メディア (Media)、エンタテインメント (Entertainment) からなる造語です。映画だけでなく、文芸や音楽、演劇など、様々な文化芸術を用いた教育手段のことです。今回は、様々な先進的なテーマに取り組んでいる世界各国の知識人によるプレゼンテーションを提供している「TED (Technology Entertainment Design: 通称テッド)」のプレゼンテーションを題材にシネマデューケーションを行います。オンラインでグループディスカッションも予定しています。参加の機会があれば是非参加申し込みが必要となります。多数のご参加を心からお待ちしております。

【事前申し込みについて】  
12月17日(木) 18:00 ~ 19:10  
ZoomのID・パスワードは要領書に記載しております。  
熊本大学病院 地域医療・総合診療実習学習指導課 (担当: 山口)

【お問い合わせ先】  
地域医療・総合診療実習学習指導課  
〒860-0811 熊本県熊本市東区元町1-1-1  
TEL: 096-373-5721

## ◆ 第8回地域医療ゼミ(2020年1月21日/オンラインにて開催)

熊本県医師会とのJoint企画として、医学生・研修医をサポートするための会のセミナー「地域医療とワークシナジー」に参加しました。地域医療支援センターの後藤理英子特任助教より出産・育児のタイミングとバランスについて実体験を基にご講演をいただいた後、春日クリニックの上野真理子先生より「治し支える医療、家事や育児が強みになる現場より」、くまもと在宅クリニック阿部真也院長より「一在宅医の経歴」と題した講演をお聞きする貴重な機会となりました。

地域医療とワークライフ・シナジー

Work-Life Balanceを追求する医療現場の現状

Work-Life Balanceを追求する医療現場の現状

【出演】育児のタイミングとバランスを考える一線現場の医師を代表して  
熊本県医師会 後藤理英子 先生  
【講師】実体験を基に、家事や育児のタイミングとバランスについて  
春日クリニック 上野真理子 先生  
【在籍医の経歴】  
くまもと在宅クリニック 阿部真也 先生

【日時】2020年1月21日(水) 18:30~20:30  
【場所】熊本県医師会またはオンライン  
【対象】医学生、研修医、若手医師(男女問わず)  
【参加費】無料

【お申込み先】  
このイベントの申し込みは、お申し込みフォームから可能です。  
お申し込みフォームは、お申し込みフォームから可能です。  
お申し込みフォームは、お申し込みフォームから可能です。

【お問い合わせ先】  
熊本県医師会 地域医療支援センター  
〒860-0811 熊本県熊本市東区元町1-1-1  
TEL: 096-373-5721

## ◆ 第9回地域医療ゼミ(2020年2月18日/オンラインにて開催)

熊本県医療政策課の方より、「制度とキャリア」をテーマに、キャリア形成プログラム、専門医制度についての説明、質疑応答を行いました。

## ◆ 第10回地域医療ゼミ-追いゼミ-(2020年3月26日/対面にて開催)

今年度最後となったゼミは6年生の追いゼミとして、初の対面による開催となりました。学生31名が参加し、レクレーションとしてグループディスカッションを行った後、卒業生挨拶、花束贈呈で6年生の卒業を祝いました。また、皆勤賞、功労賞の表彰、次年度より新たな幹事学年となる4年生代表からの挨拶や来年度の地域医療ゼミの実施計画についても説明がありました。



## 2. 令和2年度卒業生

### ● 安倍 悠乃

熊本大学医学科6年の安倍です。入学してすぐのころは果てしない道のりに感じた6年間も今振り返るとあっという間に感じます。特に2年次には熊本大地震があったり、現在は新型コロナが大流行したりと、学生生活に不安を感じる機会も多々ありましたが、無事卒業できることに安心しています。

毎月行われる地域医療ゼミでは、地域で働く先生や卒業生の講演会を聞く機会があったり、新専門医制度などの制度について学んだり色々なテーマについてセッションする機会があったりたくさんの活動をしてきました。その中でも一番印象に残っているのは、臨床推論です。以前テレビであった総合診療医ドクター Gのように症例が提示され、少しずつヒントをもらいながらみんなで話し合い疾患を特定していくのは、謎解きのようにもあり、下級生の頃から知識がなくわからないなりに先輩方に教えてもらいながら楽しんで参加していたのを覚えています。

また、夏季実習では、地域の中核病院や診療所など様々な規模の病院や福祉施設などの医療施設を見学することができた他、行く先々の地域の食べ物や産業に触れて地域の魅力を知ることができたり、ともに参加した自治医科大学の学生とも交流を深めることができたことはとても良い経験になりました。

地域枠ゼミや夏季実習などの活動を通じて、6年間で地域医療や総合診療について多くのことを学ぶことができました。4月からは初期臨床研修医としての生活がスタートするので、ここで学んだことを生かし、研鑽に励んでいきたいと思っています。

新型コロナの影響もあり、直接顔を合わせての挨拶はできない状況でありますので、この場をお借りして感謝の意を述べさせていただきます。地域医療ゼミで学ぶ中でお世話になりました皆様ありがとうございました。今後もしよろしくお願ひいたします。

### ● 今田 真亜子

月日が経つのは早いもので、あっという間に私も卒業する年となってしまいました。振り返ってみると、部活と勉強に勤しんだ6年間でした。このように、充実した学校生活を送れたのも、医師修学資金制度のおかげだと、誠に感謝しております。

入学した当初、私は地域医療とは何なのかよく理解できていませんでした。月1回の地域医療ゼミや夏季実習を通して、地域医療について深く考える機会が増えました。毎月のゼミでは臨床討論を行い、医学の知識を深めたり、シネメデュケーションにおいて、映画を見て医師としての在り方を考えたりすることができました。毎年夏に開催される地域実習では、天草や上益城、玉名などの地域を訪れ、実際の地域医療がどのように行われているのかを肌で感じることができました。そして、その地域の医療をよりよくするためにはどうすればいいか、医師として地域の方たちに求められるものは何なのかなどを考えました。他学年の学生や自治医大生と一緒にグループになって、話し合ったことを覚えています。また、地域の文化や産業に触れ、その地域の良さを知ること、将来、地域で働くことのイメージをすることができました。6年間で学んだことは大変貴重な経験となっています。

4月からはよいよ初期研修医として働くこととなります。6年間で学んだ経験をもとに、これから熊本県の医療に少しでも貢献できるよう、精進していきたいと思っています。地域の皆様に信頼される医師になりたいと思います。

最後になりましたが、地域医療・総合診療実践学寄付講座の先生方、スタッフの皆様をはじめ、多くの方々に日頃より多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。6年間充実した学校生活を送れ、無事卒業できるのも皆様のご指導とご支援の賜物だと深く感謝しております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## ● 詹 翔叡

令和3年2月12日現在、第115回医師国家試験も無事終わり、合格発表の日を悶々としながら待っている状態です。地域の「地」の字も医療の「医」の字も知らずに入学したあの日からあっという間に6年経ってしまいました。今回は地域枠として入学してからの6年間をざっくりと振り返ろうと思います。

地域枠として入学した自分にとって一番大きな存在だったのはやはり地域医療ゼミと夏季実習です。地域医療ゼミでは臨床推論を通して鑑別疾患の考え方や診察・検査の進め方を勉強できましたし、シネメデューケーションを通して医師として必要な心構えやプロフェッショナリズムについて考える機会を得ることができました。夏季実習では県内各地域の医療や介護の現状や問題点を、実際に自分の目で見たり、その地域で診療していらっしゃる先生や介護施設の方、行政の方から教えていただける貴重な機会になりました。またフィールドワークを通して産業や観光などその地域の魅力を知ることができたのがなにより良かったです。これらの経験は地域枠として入学していなかったら絶対に得られなかった経験だと思います。

国家試験に合格できたら、4月からは研修医として仕事と勉強の日々が始まります。今年度は新型の感染症が猛威を振るい、今までの生活がガラリと変わってしまいました。この感染症を克服したとしても、10年後20年後にまた同じような事態に見舞われる可能性がないとは言い切れません。そのような事態が発生した時に熊本の医療を、ひいては日本の医療を守るための一翼を担えるよう精進していく所存です。最後になりますが、地域医療・総合診療実践学寄附講座の先生方、スタッフの皆様、夏季実習でお世話になった方々、6年間大変お世話になりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ● 松田 崇秀

私は小さい頃から医師になりたいと思っていたが、地域医療というものについて考えたことはなかった。しかし熊本で生まれ育った私にとって、熊本の医療に貢献することへの抵抗感はなく、医師不足で困っているなら自分がやろうという意気込みで入学した。入学後、最初はゼミでついていけないこともあり、知識のなさからどんな問題があるのかも分からなかった。しかしそのような時には、近くの上級生がいるという教えてくれたため、理解することができたように思う。

少しものが分かり始めた2年生、熊本を地震が襲った。経験したことのない強い揺れで、益城や南阿蘇を中心に大きな被害が出た。熊本には大きな地震は来ないという固定観念があり衝撃は大きかったが、震災時に医師や病院がどう対応したのか実際に聞くことができたのは今後のためになったと思う。

基礎医学、臨床医学、臨床実習と学び、気が付くと5年生、ゼミ等で中心的役割を果たす学年となっていた。どうすれば下級生も参加しやすいか、分かってくれるか、自分が下級生だった頃を思い出しながらゼミの内容を考えたり教えたりした。

こうして6年間を振り返った際に1番記憶に残った、勉強になったのはやはり夏季実習だと思う。下級生の頃は地域で医者が足りていない程度の認識だったが、地域医療の雰囲気や、私たちが地域の人々に歓迎され、期待されていることを肌で感じた。知識が伴った高学年では医師以外の医療職や機器の不足、アクセスの悪さなど課題がたくさんあることが分かってきた。また、一口に地域といってもそれぞれキャラクターや抱える問題が違うことも分かった。

では私が実際に医師として地域に行ったときに何が出来るか。今の時点では見当がつかない。とすると自分に何が出来るのか、どうすれば出来ることを増やせるのか、考えながら初期研修に臨むしかないだろう。

最後になるが、私は6年間さまざまな人に支えられてきた。今私がこうして卒業を迎えられるのもそのおかげである。これまで私に関わった全ての人に感謝したい。

## ● 丸目 高大

医学部に入った当初は暗記の量に驚愕する毎日でした、しかしながら高校までとは違い、みんなで勉強することが大きな相違点でした。お互いに教えあうことで刺激を与え合い、膨大な量も頭に入れることができ、難しい試験もなんとか乗り越えることができました。

6年間を振り返ると部活に明け暮れた生活だったと思います。

私は硬式テニス部に入部し、入部してからは非常にハードな生活でした。しかしそこで知り合った先輩や同級生は学校生活や私生活でも付き合い、学業で悩むことがあったらなんでも相談して乗り越えるような仲間ができました。

特に試験前になると部活の同級生で集まり、一致団結して試験を乗り越えていたことが懐かしいです。部活動で一番記憶に残っている時期は幹部の時代です。そこで培った管理能力は仕事をする上でも役に立つことと信じています。

地域枠の活動としては、普段では地域医療ゼミにて先輩方と一緒に活動をさせていただきました。シネメディケーションや臨床推論などみんなで協力して取り組む活動は楽しかったです。夏の地域医療実習では毎年、自治医大の学生の方々と交流を深めながらその地域における課題や医療体制について学ばせていただきました。

一番印象深かった年は天草での実習です。天草では保健所の方々からのお話を実際に聞きながらプレゼンの資料を作成しました。独居世帯の増加や高齢化、地理的な問題に対し、健康教室の開催など地域全体で取り組んでいる政策を知り、非常に勉強になりました。その一方で天草の街を巡ったり、住民の方に地域独自の踊りを実際に教えていただけてみんなで踊ったりと楽しみながら地域の歴史や文化を学ぶこともできました。

地域枠の先生方には地域医療ゼミ、夏の実習の他にもふとすれ違ったときに声をかけてくださったり、近況をかけてくださったりと大変お世話になりました。医師になってからも学生時代の経験を活かし、努めていきたいと思います。